

ポジティブに^{かんが}考える

(7年)



ゆうしゅうしょう
優秀賞

みなさんは、^きもちが暗^{くら}くなったり落^おち込^こんだりすることはありますか。僕^{ぼく}には苦^{にが}手なことがいくつかあって、それに向^むき合^あわなくてはいけないとき、よく^きもちが重^{おも}くなります。

例えば、国語^{こくご}の授^{じゅぎょう}業^{ぎょう}で作^{さく}文^{ぶん}を書^かかされると。また、めったに話^{はな}さない女^{じょし}子^しとペアになっ^{はな}て話^あし合^あうとき……。相^あ手^ても人^{ひと}見^み知^しりだったりすると、無^む口^{くち}と緊^{きん}張^{ちやう}は2倍^{ばい}になります。ほかにもあります。先^{せん}生^{せい}にあてられて友^{とも}だちの視^し線^{せん}を浴^あび、た^たでさ^え緊^{きん}張^{ちやう}しているとき^{きんちやう}に答^{こた}えを間^ま違^{まちが}えたりすると、もうメンタルはボロボロです。授^{じゅぎょう}業^{ぎょう}時^じ間^{かん}内^{ない}に課^か題^{だい}の提^{てい}出^{しゅつ}を求^{もと}められるのは、特^{とく}に苦^{にが}手です。

こんな僕^{ぼく}ですが、6年^{ねんせい}生^{せい}になっ^{すこ}て、少^じしづつ自^じ分^{ぶん}の苦^{にが}手^てを理^り解^{かい}できるようになりました。提^{てい}出^{しゅつ}が決^きまっ^{てい}ているプ^こリ^うントやノ^ひー^もー^{かえ}トは前^いの日^えに持^もち帰^{かえ}り、家^{いえ}で考^{かんが}えてくるようにしまし^{すこ}た。そうするこ^じと、時^じ間^{かん}が^かか^るこ^{とも}も少^{すこ}しづつク^りア^あで^るよ^うに^なり^まし^た。小^{しょうがっこう}学^{がく}校^{こう}のう^ちは、自^じ分^{ぶん}の^み見^みつ^けた^{この}方^{ほう}法^{ほう}でど^うに^か乗^のり^こ越^こえ^てき^たの^{です}。

中^{ちゅうがっこう}学^{がく}校^{こう}へ^の進^{しんがく}学^{がく}が^{ちか}近^{たんにん}づ^くと、担^{たん}任^{にん}の先^{せんせい}生^{せい}はよ^いくこ^{んな}なこ^とを^いう^ように^なり^まし^た。

「中^{ちゅうがっこう}学^{がく}校^{こう}は^{きび}厳^いしい^{ので}、今^{いま}の^{うち}から^{ちゃん}と^{しま}し^{ょう}。」

それ^{なんかい}を何^{なんかい}回^{かい}も何^き回^{かい}も聞^きか^された^{ぼく}僕^{ぼく}は、

「中^{ちゅうがっこう}学^{がく}校^{こう}は^{きび}そ^{んな}に^{きび}厳^いしい^とこ^ろな^{のか}。何^{なん}だ^か嫌^{いや}だ^な。」と、暗^{くら}い^{きもち}気^{もち}持^ちに^なり^まし^た。そ^{して}、ま^たい^ろい^ろな^こと^が不^ふ安^{あん}に^なり、緊^{きんちやう}張^{ちやう}が^{おお}大^おき^くな^って^いき^まし^た。

し^かし、中^{ちゅうがっこうせい}学^{がく}校^{せい}生^{せい}活^{かつ}が^はじ^まっ^てみ^とと、僕^{ぼく}の^よ予^そ想^{そう}は^{すこ}少^はし^は外^{じごく}れ^まし^た。地^ひ獄^びの^はじ^まる^{のか}と^{おも}っ^てい^まし^たが、想^{そう}像^{ざう}よ^りは^ずっ^とマ^シで^した。ど^うし^てそ^う感^{かん}じ^たの^でし^{ょう}か。僕^{ぼく}た^ちの^き気^きが^{ゆる}ま^{ない}よ^う、小^{しょうがっこう}学^{がく}校^{こう}の^{せんせい}先^{せん}生^{せい}が^わざ^と厳^{きび}しく^い言^いっ^てい^たの^でし^{ょう}か。そ^のせ^いで、僕^{ぼく}は^{ひつ}必^{ひつ}要^{よう}以^い上^{じょう}に^{きんちやう}緊^{きん}張^{ちやう}し^て損^{そん}を^{した}気^き分^{ぶん}に^なり^まし^た。で^も、よ^く考^{かんが}え^てみ^とと、小^{しょうがっこう}学^{がく}校^{こう}の^{せんせい}先^{せん}生^{せい}の^{こと}言^ごば^まを^真に^う受^うけ^て、し^っか^り心^{こころ}構^{がま}え^や覚^{かく}悟^ごが^でき^てい^たか^らこ^そ、緊^{きんちやう}張^{ちやう}せ^ずに^いい^ス

タートを切ることができたかもしれません。僕に足りなかったのは、物事を前向きに捉えるという考え方でした。嫌なことや苦手なことでも、どう捉えるかで自分の気持ちは変わります。先生の話聞いて、中学校は厳しいかもしれない、だからこそ早めに準備しておこうという考え方ができていたら、もっと楽しい春休みを過ごせていたかもしれない、今はそう思います。

僕のクラスには、誰とでも話ができる人、苦手なことにも進んで取り組んでいる人がいます。こんなポジティブ思考の人がうらやましいです。そんなメンタルの強い人に僕はあこがれます。僕もポジティブになれるように、自分のいいところを見つけたり、ポジティブな言葉を使ったりして、自分から積極的に行動することを心がけたいです。暗い気持ちになったとき、それを放っておくのではなく、自分で切り替えて気持ちを楽にしていけるようになりたいと思います。できないことは一人で抱えこまず、周りの人に助けを求めるのもいいでしょう。

中学校では、運動会の練習が始まりました。ソーラン節の難しい振り付けに苦戦しています。9年生に優しく踊りを指導していただいているところですが、まだ少ししか覚えられていません。いつもの僕なら、ここで「ああ、嫌だな、なんでこんなことをしなければいけないんだろう。」と暗くなるところですが、今の僕は違います。家でも練習して、中学生全員でソーラン節を踊ろう、と燃えています。きっとできるはずです。

中学3年生になるころには、作文や読書感想文が悩まず書けるようになりたいし、人見知りせずグループ活動に参加したり、授業中あてられても、自信をもって発表したりできるようになりたいです。